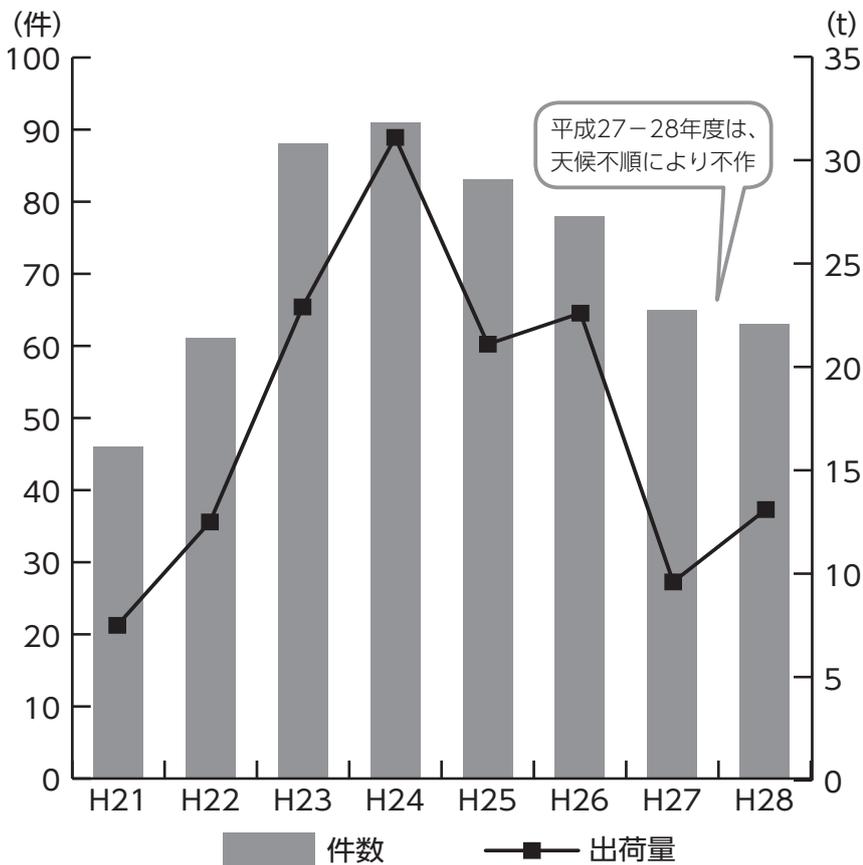




刈り取りの様子(塩野)

御代田町における普通そば出荷量



昨年度の町内におけるそばの出荷量は、約13tでした。出荷されたそばは、町内の加工業者や飲食店に販売されています。町では、出荷先に指定しているJA佐久浅間あさま東部営農センターに出荷した生産者に対し、1kg当たり200円を買取り価格に上乗せする補助を行い、生産

量の更なる拡大を図っています。このほかにも、町内の農地等で新しくそばを作付けする方に無料でそば種子を頒布する事業や、コンバインによる刈取り料金の定額補助を行っています。これらそば生産振興事業を始めた平成21年度からの実績は、左表のとおりです。

御代田町のそば出荷量と生産振興支援

そばの栽培を 始めてみませんか

天候による収穫量のバラつきはありますが、町内のそば生産は、JA佐久浅間を始め、町内の企業および飲食店並びにそば生産者のご協力により定着化してきています。

そばの生産は、全国的に農地の荒廃を予防するのに有効といわれていますが、依然として、町内の荒廃農地の解消には繋がりがきていない現状にあります。

また、荒廃農地の中には、地形的要因等により大型農業用機械が入りできず、大規模な農作業が不向きな場所などもあります。

そばは、葉物野菜に比べると手間がかかりにくく、少ない労力で栽培ができます。種子の無料頒布や出荷販売価格への上乘せ補助を活用し、そばの栽培を始めてみてはいかがでしょうか。



「だつたん韃靼そば」の生産振興 にも取り組みんでいます

普段、ざるそばやかかけそばとして食べられているそばは、「普通そば」です。

「韃靼そば」は、普通そばに比べ「苦味」が強く、国内では積極的に栽培、利用されることがほとんどなかったそうです。しかし、近年韃靼そばの豊富な栄養素から健康食品としての価値が注目され、韃靼そばの製品が数多く販売されるようになりました。

町では、平成25年度から、これまでの普通そばの各種補助事業に「韃靼そば」も対象に加え、種子の調達や出荷取引について、町内に事業所を置く日穀製粉(株)と連携して、生産者のご協力のもと、韃靼そばの生産振興に取り組んでいます。

しかし、普通そばに比べると栽培面積、出荷量ともにわずか1%程度の状況です。栽培方法などは大きく変わりませんが、普通そばよりも2週間ほど生育に時間がかかるため、播種の時期を少し早めていただく必要があります。今年度は、種子の供給先である日穀製粉(株)のご提案により品種を変えた結果、これまでよりも生育が良好で、実の付き方もよいため、収穫量にも一定の期待が持てそうです。

このように、事業者と生産者が共同で更なるそば生産振興に向けた取り組みを実施しています。

「韃靼そば」の栽培に ご協力ください

「韃靼そば」は、普通そばよりも比重が重く、同じ面積でも収量が普通そばよりも多く見込めることがありますので、ぜひ、韃靼そばの栽培にもご協力をお願いします。



韃靼そばの実(9月・面替)



そば集出荷作業の様子

「御代田町そば振興会」に 入会して一緒にそば生産振興 に取り組みませんか

町内そば生産者有志で組織する「御代田町そば振興会」は、町からのそば刈取り業務やJA佐久浅間からの旧伍賀支所ライスセンター運営管理業務の受託、日穀製粉(株)との韃靼そばの契約栽培などを通し、町と連携してそば生産振興に取り組んでいます。

刈取り作業や集出荷作業の取りまとめなどの人員確保や、そばの普及活動に取り組んでいただける方を募集していますので、興味のある方は、御代田町そば振興会代表0267(32)4793までお問い合わせください。



御代田町そば振興会大井会長